



令和3年10月25日

～長野県が発行する”グリーンボンド”を購入しました～

このたび、庫昌土建株式会社は、長野県が発行する「グリーンボンド」を購入致しました。当社は、本債券への投資により、長野県が行う環境事業の促進を図ると共に、建設事業者及び投資家としての責務を果たし、持続可能な社会の形成への貢献を、より一層進めて参ります。

【グリーンボンドとは】

地球温暖化対策や再生可能エネルギーなど、環境分野への取り組みに特化した資金を調達するために発行される債券のことです。

【目的】

長野県では、気候変動の適応・緩和の両面に取り組む施策を行うための資金調達として、グリーンボンドを発行することで、県内の自然災害の影響緩和と2050年度までに二酸化炭素(CO2)排出量実質 ゼロにするための取組を進めています。

また、グリーンボンドの発行を一つの契機として、他の地方自治体や事業者のESG投資に対する機運醸成を図り事業活動における脱炭素化につなげるなど、県民・NPO、事業者、金融機関、行政 機関などあらゆる主体とのパートナーシップによる持続可能な社会実現に向けた取組を進めています。グリーンボンドを発行することは、県内のESG債への投資・発行を促す一助となることに加え、国連の持続可能な開発目標(SDGs)の達成にも貢献するものと考えております。

【概要】

銘柄名称：長野県令和3年度第3回公募公債(グリーンボンド(10年))

年限：10年(満期一括償還)

発行額：100億円

利率：年0.145%

発行日：令和3年10月25日(月曜日)

主幹事会社：大和証券株式会社(事務)

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

【資金の使途】

グリーンボンドにより調達した資金は、次の事業への充当を予定しています。

分類	事業内容
再生可能エネルギー	▪小水力発電所の設置
グリーン輸送	▪しなの鉄道の車両更新に対する補助
エネルギー効率	▪県有施設の設備等の更新(空調設備の更新、照明のLED化、高断熱化等) ▪県有施設の新築・改修
気候変動への適応	▪交通インフラ整備(信号機電源付加装置、道路防災等) ▪水害対策のための河川改修 ▪土砂災害対策のための砂防、治山、地すべり、急傾斜地崩壊対策
生物自然資源等の環境持続型管理	▪森林環境保全のための林道整備

長野県SDGs推進企業登録証



長野県SDGs推進企業として登録し、ここに証します。

登録事業者：庫昌土建株式会社

登録期：第5期

登録番号：405

登録期間：2020年7月31日から 2023年7月30日まで

2020年7月31日

長野県知事

阿部 奇一



【長野県は「SDGs未来都市」です】



長野県SDGs推進企業登録マーク



しあわせ
信州

この登録証は、県庁内の使用済みの古紙を使用して作成しました。

(様式第 2 号)

SDGs 達成に向けた宣言書 (要件 1)

令和 2 年 6 月 8 日

住所 長野県下諏訪町社 145 番地 1

企業名 庫昌土建株式会社

代表者名 代表取締役 宮坂 直志

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

1. 当社の目的は、存続である。存続することによって、社会貢献を果たす。
2. 成果は問題の解決ではなく、機会の開拓によって得られる。
3. 資源には限りがある。したがって、我々はより成果の上がる事象に活動を集中し、可能な限り成果の小さい活動を捨てることにより、生産性の向上を旨とする。

上記の経営理念のもと、SDGs 達成に向け企業活動を行う。

3 側面 (主な分野に○)	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 登録年月日:
環境 社会 経済	産業廃棄物の排出量削減に取り組む。	排出量の 30%削減 2020 年:1,210.16t 2030 年:847.11t 以下	
環境 社会 経済	各現場において、より良い完成度を 目指し、地域の方々が安心・安全に 生活できるよう取り組む。	長野県工事成績平均評定点 90 点以上	
環境 社会 経済	社員全員が過ごしやすい職場作り に取り組み、女性社員の雇用比率増 加を目指す。	女性雇用比率 2020 年:25% 2030 年:33%	

【記載留意点】

- ・上記については「SDGs 達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、(様式第 3 号)「SDGs 達成に向けた具体的な取組」(要件 2)に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs 達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は、原則として数値目標を記載してください。
- ・「環境」、「社会」、「経済」の 3 側面の全てについて重点的な取組を記載してください。なお取組が複数の分野にまたがる場合は、それぞれの分野に「○」をしてください。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、新規登録時は記入不要です。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、年 1 回以上進捗管理を行い、状況を記載してください。

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
32	<input type="checkbox"/>	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・工事を実施する際、工事内容について近隣住民の方々から理解を得られるよう、挨拶回りや地元説明会を行っている。 ・HPにて工事の進捗状況を写真を交えて公開している。					4					9		11	12		14	15		17		
33	<input type="checkbox"/>	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・諏訪湖アダプトプログラム活動を参加し、ゴミ拾いや草刈りなど湖の美化に努めている。 ・毎年地元中学校の職場体験の受け入れをし、次世代を担う人材への育成機会を提供している。					4								11			14	15		17	
34	<input type="checkbox"/>	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地産地消、地産外販）している	チャレンジ	・長野県産材料の資材利用に努めている。										8	9		11	12	13					
35	<input type="checkbox"/>	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本	・経営理念、品質・環境・労働安全衛生統合の方針や目標を社内に掲示して共有している。											8	9							17	
36	<input type="checkbox"/>	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・社内会議にて、法令遵守の重要性を全従業員に向けて発信している。																			16	
37	<input type="checkbox"/>	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・社内担当者を設置し、十分な配慮を行っている。																			16	
38	<input type="checkbox"/>	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・打ち合わせ簿を書面にて作成し、保管している。																		16	17	
39	<input type="checkbox"/>	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・工事現場ごとに、毎日リスクマネジメントを行っている。																			16	
40	<input type="checkbox"/>	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・OSRIについてまとめた資料を社内会議にて配布し、社員全員に周知した上で、責任を持った行動・対応に取り組んでいる。 ・新入社員には既存社員の顔写真入りの自己紹介用紙を配布し、氏名を覚えるのに役立ててもらっている。																			16	
41	<input type="checkbox"/>	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・災害時の基礎的事業継続力認定(BCP)を取得している。 ・緊急時の訓練や対策を定期的に見直し、行っている。													9		11		13	13.1		16
42	<input type="checkbox"/>	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・毎年、新入社員の募集・受け入れを行っている。 【予定】今後の後継者候補への事業内容の継承・指導を行う。													8	9						17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

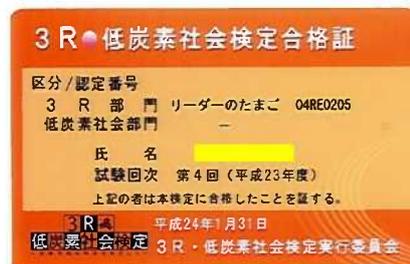
・太陽光発電

弊社は社屋屋上及び富士見町の自社所有地にて太陽光発電を行い、自然エネルギーの活用による間接的な環境負荷の低減の一助となるよう取り組んでおります。



・3R実践協定締結

弊社は長野県と平成24年より3R（リユース（再使用）リデュース（排出抑制）リサイクル（再生使用））の実践協定を結び、各工事で排出される産業廃棄物について3Rを推進しております。また、社員も各資格を受験し研鑽を積んでおります。



・ハイブリッド車の使用

弊社は長野県との3R実践協定の一環として、化石燃料の使用を低減することによる環境負荷の低減を目的として、平成25年よりハイブリッド車やPHEV車両を随時導入しております。



●EX・ダンビー協会への入会



地下埋設物が輻輳する道路での敷設替えは、交通の混乱や生活環境への影響、コスト等の問題もあって困難をきわめます。

こうした問題を解決するために開発されたダンビー工法は、中大口径管きょを開削することなく、スピーディーに甦らせる管更生工法です。硬質塩化ビニル製の帯板

(ストリップ)を既設管の内側に密着させながら結合材を用いてスパイラル状に製管し、ストリップ管と既設管の隙間に充填材を注入して既設管・充填材・ストリップ管の三つが一体化した複合管を形成します。